

# 平成30年度 学校自己評価システムシート (県立川口高等学校)

目指す学校像 生徒の可能性を追求し、進路を実現する力と人間力を高める学校

- 重点目標
- 1 組織的な学力向上策を整備し、生徒の進路目標を高める。
  - 2 部活動・学校行事を通して規範意識や自己肯定感を向上させ、高い目標に挑戦する強い心を養う。
  - 3 地域に根ざし、信頼される学校づくりを一層進める。

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※ 学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	9名
	生徒	5名
	事務局(教職員)	9名

年度目標		年度評価(2月1日現在)					
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p><b>【現状】</b> 落ち着いた雰囲気の中で授業が行われている。一般入試を受験する生徒は増加傾向にある一方、まだ安易に推薦入試やAO入試等を選択する生徒も多く、高校生活最後まで自らの可能性を追求していく学習の取り組みはまだ不十分である。</p> <p><b>【課題】</b> 高い目標を設定し、自らの実力を客観的に把握しつつ、自らの可能性を追求した先の目標実現に向けて継続的に努力させるため、積極的に学力向上に取り組ませる工夫が必要である。</p>	学習習慣の定着	<p>①英語・数学・国語を中心に、学年毎・教科毎に週末課題と確認テストを実施する。</p> <p>②朝自習をはじめとする「すきま時間」を活用した学習スタイルを例示し、学習習慣の確立を促す。</p>	<p>・生徒アンケート「集中して取り組んだ」70%以上</p> <p>・月2回のペースで実施できたか</p> <p>・生徒アンケート「集中して取り組んだ」70%以上</p> <p>・アンケートによる授業以外の学習時間の増減</p>	<p>・国語・数学・英語を中心に計画的に週末課題及び確認テスト等に取り組み、生徒アンケートにおいて、76.8%の生徒が「集中して取り組んだ」と回答した。</p> <p>・年間を通じて全学年で自習(隙間時間の利用)を奨励した。生徒アンケートにおいて、60.9%の生徒が「集中して取り組んだ」と回答した。</p>	B	<p><b>【課題】</b> 授業時間以外における学習時間の増大</p> <p><b>【改善策】</b> 自習室や各フロアの廊下等に自習用課題コーナーを設置し、自習室利用者の増加や隙間時間の活用を促進し、学習機会を増やす。</p>
		生徒の意欲と学力を向上させる授業の実践	<p>①教科研究週間中心に授業参観を行う。</p> <p>②教科毎に授業改善に向けた研修会を行う。</p> <p>③若手教員の授業力向上を図るため、教育センターや予備校主催等の校外研修会等に参加させる。</p>	<p>・延べ100名の教員が授業参観を行ったか</p> <p>・教科会で研修会を2回以上行ったか</p> <p>・延べ20名の教員が参加したか</p>	<p>・授業公開週間を6月と11月に実施し、延べ95名分の授業観察報告シートが提出された。</p> <p>・第1回のアンケート結果を受けて、8月に職員研修会を実施し、教科ごとに授業評価アンケートの結果を踏まえて改善策を検討した。</p> <p>・延べ34名の教員が校外研修に参加した。(教育局主催 延べ4名、ベネッセ主催 延べ15名、河合塾主催 延べ10名、新宿セミナー主催 延べ5名)</p>	A	<p><b>【課題】</b> 授業改善へ取り組む参加者の増加</p> <p><b>【改善策】</b> 授業見学における模範授業の調査とその告知の徹底</p>
		一般入試に対応した進路指導体制の整備	<p>①1、2年生の学力の状況把握のため「スタディサポート」、「進研模試」や河合塾の模試を実施する。</p> <p>②3年生を中心に、学期内や長期休業中に一般入試に向けた進学補講を実施する。</p>	<p>・年間3回の全員模試受験ができたか</p> <p>・学期内に10講座以上の講習会が開講できたか</p> <p>・延べ100名以上の生徒が参加したか</p> <p>・夏季休業中に30講座以上開講できたか</p> <p>・延べ100名以上の生徒が参加したか</p>	<p>・1・2年生対象の全員受験模試を年間3回実施した。3年生希望者対象模試を10回実施した。</p> <p>・進学補講を平日14講座、夏季休業中33講座、冬季休業中19講座開講し、延べ300名以上の生徒が参加した。</p>	A	<p><b>【課題】</b> 模擬試験に向けての事前事後指導の実施</p> <p><b>【改善策】</b> 全国模試の内容と授業進度の確認、授業での過去問題等への積極的な取り組み</p>
2	<p><b>【現状】</b> 基本的な生活習慣が確立した、真面目で素直な生徒が多い。学習と部活動の両立に努めている。</p> <p><b>【課題】</b> 基本的に良い生徒であるが、規範意識や自己肯定感が十分ではないため、何事に対してもリスクを冒してまで新たな挑戦をするほどの積極性を発揮することができない生徒が散見される。</p>	組織的な生徒指導体制の下で、行事や部活動等の課外活動の一層の活性化により、生徒の人間力を高める。	<p>①規範意識の醸成に全校体制で取り組むため、継続的な生活指導を実施する。</p> <p>②文武両道を重んじ、部活動実績を向上させるため、生徒に部活動への取り組み姿勢の改善とスキルアップを求める。</p> <p>③部活動や学校行事を通じて人と交わる力やリーダーシップを育て、生徒達の自尊心を醸成させるため、学校行事の中で、生徒が主体的に活動する内容を増やす。</p>	<p>・昨年度と比較して遅刻者数及び指導対象者数が減少したか</p> <p>・部活動加入率が上昇したか</p> <p>・生徒アンケートの部活動満足度が80%以上であったか</p> <p>・生徒アンケートにおいて学校行事に積極的に参加できた生徒の割合が増えたか</p>	<p>・1日の平均遅刻者数は、3.4名(前年度3.2名)であった。年間目標、生活委員による放送や声掛け、5分前着席の確認などが定着している。</p> <p>・部活動加入率は、76.0%(前年比10%減)となった。生徒アンケートにおいて79.0%の生徒が「積極的に参加できた」と回答している。今年度もウェイトリフティング部、書道部による全国大会出場や文部科学大臣賞等の受賞、野球部の第100回記念大会における埼玉県準優勝など、各部活動において良好な成績を残した。</p> <p>・体育祭や文化祭等の準備において、各実行委員会、中央委員会、美化委員会や生活委員会が活動し、生徒が主体的に学校行事に関わる機会を創り出した。生徒アンケートにおいて「学校行事に積極的に参加できた」と回答した生徒の割合は、93.5%(前年度93.6%)であった。</p>	B	<p><b>【課題】</b> ・学校生活における『高く正し』の実践</p> <p>・部活動加入者の増加</p> <p><b>【改善策】</b> ・各委員会を中心とした自主自律活動の継続</p> <p>・退部した生徒が再入部できる環境の整備</p>
		情報発信の多元化を行い、川高ファンを増やす。	<p>①完成した学校紹介DVDを活用し、進学フェアや学校説明会、予備校・塾等の説明会の工夫を行う。</p> <p>②各学年での行事や部活動の結果などを定期的に更新する。</p> <p>③PTA・同窓会・後援会との連携強化を図るため、昨年度新設した専用HPの運営を活性化させる。</p>	<p>・学校説明会等の来校者数が増加したか</p> <p>・HPの更新数、アクセス数は増加したか</p> <p>・HPへのアクセス数が増加したか</p>	<p>・学校説明会(部活動体験含む)を年間5回実施し、昨年度より増加となる延べ2483名の参加者があった。</p> <p>・各学年、部活動において積極的にHP記事更新を行った結果、「川高日誌」の更新回数は前年度より倍増となる150回を超え、本校ホームページへのアクセス数は前年度より3千件増の4.8万件に達した。</p>	A	<p><b>【課題】</b> 部活動ページにおける更新回数の増加</p> <p><b>【改善策】</b> ホームページ記事掲載に関する研修会の実施</p>
3	<p><b>【現状】</b> 地域や保護者から概ね信頼され、PTA活動や諸行事も円滑に行われている。生徒募集においても入学志願者数は安定している。</p> <p><b>【課題】</b> 川口市立高校の創立に伴い、本校の生徒募集に関する情報をより一層積極的発信する必要がある。</p>	情報発信の多元化を行い、川高ファンを増やす。	<p>①完成した学校紹介DVDを活用し、進学フェアや学校説明会、予備校・塾等の説明会の工夫を行う。</p> <p>②各学年での行事や部活動の結果などを定期的に更新する。</p> <p>③PTA・同窓会・後援会との連携強化を図るため、昨年度新設した専用HPの運営を活性化させる。</p>	<p>・学校説明会等の来校者数が増加したか</p> <p>・HPの更新数、アクセス数は増加したか</p> <p>・HPへのアクセス数が増加したか</p>	<p>・学校説明会(部活動体験含む)を年間5回実施し、昨年度より増加となる延べ2483名の参加者があった。</p> <p>・各学年、部活動において積極的にHP記事更新を行った結果、「川高日誌」の更新回数は前年度より倍増となる150回を超え、本校ホームページへのアクセス数は前年度より3千件増の4.8万件に達した。</p>	A	<p><b>【課題】</b> 部活動ページにおける更新回数の増加</p> <p><b>【改善策】</b> ホームページ記事掲載に関する研修会の実施</p>

学校関係者評価	
実施日 平成31年2月15日	
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>・授業時間外での校内学習時間の増大は、必ず成績向上に直結する素晴らしい取り組みである。</p> <p>・生徒の多くが自発的に学習に取り組んでいくような雰囲気づくりも重要である。その点を意識した取り組みを期待する。</p> <p>・改善策はとても良い内容である。自習用課題に対するフォローはどのようになっているのか。課題をこなした生徒へのアドバイスや評価があると励みになるのではないかと。</p>	<p>・生徒の意欲と学力を向上させる授業の実践のために大変有意義な取り組みである。今後も理想的な授業に関する情報の共有が図られ、生徒へ還元されていくことを期待する。</p> <p>・生徒アンケートでは教科によってかなり違った回答がある。これは当然のことと思うが、さらに教科を超えた教員間の授業に関する話し合い・検討はあるのか。</p>
<p>・とりえず高校に入ってから進路を考えるという中学生が増えてきている。その点で2年からの文理分けが自分の将来を考えるきっかけになっているようである。大学に行く意味や自分のやりたいこと、目的意識等をじっくり考えさせる指導を望む。</p> <p>・テストに向けてしっかりと準備をさせるためにも、試験範囲等の発表は余裕をもって行って欲しい。</p> <p>・一般受験を目指す生徒を増やすために、様々な不安を取り除くための丁寧な情報提供をお願いしたい。</p>	<p>・川口高校は伝統的に真面目な生徒が多い学校であると社会的に認識されている。今後はその好ましい面を基礎として、自信を持ち何事にも積極的に取り組むことができる生徒が数多く育成されることを期待する。</p> <p>・文武両道を重んじる伝統ある川口高校で素晴らしい結果を出した選手たちの頑張りはもちろんだが、生徒が一人となって応援している姿に感動した。連帯感や責任感を身に付ける最高の場になっていた。</p> <p>・高校生活で部活動等の活動をしている人は、進路面でもかなりプラスになる。そんな部分も伝えていくと良い。</p> <p>・勉強と部活動等を両立したいという意欲を持って川口高校を希望する生徒が多い。</p>
<p>・ホームページの内容は、中学生やその保護者が学校選びをするうえで大いに参考になる。</p> <p>・生徒を通じたプリント配布による連絡では充分伝わらない面があり、メール配信による情報提供は大変ありがたい。</p> <p>・ホームページ更新回数の増加と共に、掲載内容をより興味深く、魅力あるものにしていくことも必要である。</p> <p>・中学生が実際に高校を訪問した時に、生徒の接する姿に憧れを抱いて志望する傾向がある。今後もそういう機会を多く持つて欲しい。</p>	